

「安心」のための 各種計画を策定

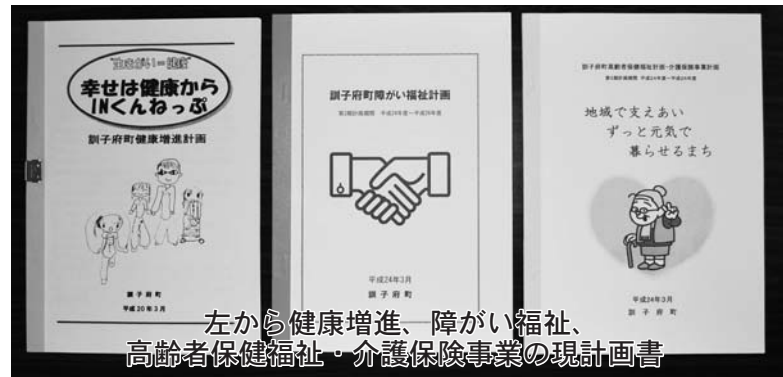
福祉のまちづくり

本町のまちづくりの柱に「安心して暮らせる福祉優先のまちづくり」があります。

誰もが住み慣れた町で、安全・安心を実感できる「町民にやさしいまちづくり」をめざすことを目標としており、その中の施策に各種福祉の計画があります。

介護予防や介護支援、さらに生きがいづくりや健康づくりの場、働く場の確保など各種施策を盛り込み、実践し「福祉のまちづくり」をめざします。

町の福祉に係る計画は「保健」「高齢者」「障がい者」の3種類4計画があります。いずれも核となるのは、町民の皆さんの「安心」と「生きがい」です。
「1」の計画が平成26年度で各期の計画期間が終了し、平成27年度から新たな計画がスタートします。本年度は、各種調査などを分析し、新計画を策定中です。



左から健康増進・障がい福祉、高齢者保健福祉・介護保険事業の現計画書

住み慣れた町で 安全・安心を 実感できる町に

☆調子府町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

高齢世帯が増える中、「高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるまちづくり」をめざし、高齢者を地域全体で支える「地域包括ケア」の確立を含め介護サービスのより一層の充実に向けたための計画です。

平成12年度から3か年の第1期計画からスタートし、現在、第5期計画（平成24年度～平成26年度）を推進中です。

在宅介護の希望多く

平成27年度スタートの第6期計画を現在策定中です。この計画策定のために、平成25年度と平成26年度に高齢者実態調査や日常生活圏域高齢者ニーズ調査を実施しました。

二つの調査結果の内容の一部を紹介しますが、詳細は、7月号広報に折り込みしていますので、ご覧ください。

高齢者実態調査は、介護認定を受けている居宅および施設など入所の方や家族を対象に実施しました。
居宅の調査では、8割の方が介護保険サービスを利用していますが、利用していない方の半数は「利用の必要がない」と答えています。
また、「今後どのように生活したいか」の問いには、「家族を中心に自宅で」と「介護保険や福祉サービスを活用しながら自宅で」を合わせ半数を超え、老人ホームなど施設での生活についても2割近くが希望していました。

日常生活圏域高齢者ニーズ調査は、町内在住の65歳以上の介護認定を受けていない方約800人を対象に実施し、689人の方から回答をいただきました。

「普段、ご自分で健康だと思いますか」の問いに対し、「とても健康」「まあまあ健康」と回答した方が、合わせて520人（75%）いました。

今後、介護が必要になったとき、どのように生活したいですか」との問い（複数回答）には、「家族に介護してもらいながら、自宅で生活したい」が302件、「介護保険のサービスを利用しながら、自宅で生活したい」が82件と在宅希望が圧倒的に多いという結果が出ています。

さまざまな調査も実施し、計画に反映



介護予防教室の一つ「はっちゃんき塾」

☆調子府町健康増進計画

「健康増進＝生きがい」を共通目標に

「生きがい＝健康」を「幸は健康からinくねっぶ」をテーマに平成20年3月に策定されたこの計画は、平成26年度までとなっており、平成25年度に健康づくりなどに関連した調査や意見の集約結果をもとに、新たに平成27年度から10年間の計画を策定します。

この計画は、町民の皆さんの健康づくりを支援するための環境整備と健康増進に向けたもので、町民の皆さんと町が「健康増進＝生きがい」を共通目標としてさまざまな施策を立案、推進していきます。

☆調子府町障がい福祉計画

障がいのある方が、安心して社会活動

第3期の計画（平成24年度～26年度）が終了するため、現在、第4期計画（平成27年度～30年度）を策定中です。障がい福祉計画は、障がいのある方が、安心して地域生活、社会活動を営めるまちづくり・地域で自立して暮らすことのできる社会づくりに向けて、「障がい福祉サービスの見込量とサービス確保のための方策」を盛り込み、推進していきます。

今年1月に開催した健康まつり

